

地域で伸ばす  
明日を元気に歩む力



地域リハビリテーション事業とは、高齢者のみなさんがいつまでもお元気に過ごせるよう、町が地域の集まりへリハビリテーション専門職を派遣し、毎日できる運動を楽しく学び体験する取り組みです。  
今回の『町で働く「ふくし」のカタチ』(6P)では作業療法士の中村さんへインタビューしました。

## 目次

- 2P 支え合いまちづくりレポート
- 3P 「おぶせミュージアム・中島千波館」見学(花の里)運動会(町デイ)  
デイサービスボランティア募集
- 4P 令和7年度 事業報告
- 5P 令和7年度 決算報告  
おしらせ：家族介護者のつどい  
「義援金」「救援金」  
フードドライブ
- 6P 町で働く「ふくし」のカタチ  
じゃがいも収穫ボランティア募集



小布施町支え合いまちづくりレポート vol.47

# 誰もがホッと安心できる地域の居場所へ 今年度から『お茶の間サロン』 に名称が変わりました

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集まり、ホッと安心できるつながりの場所、それが町内10カ所で開催されている「お茶の間サロン」です。

長く親しまれてきた「お茶のみサロン」ですが、「今まで以上に多くの方が集い、元気な活動を広げていきたい」という願いを込めて、今年度から『お茶の間サロン』に名称が新しくなりました。

## ・活動保険の補助

サロン開催日に保険をかけています

## ・活動費の補助

活動に必要な道具や材料、講師へのお礼などに活用していただけます

いつもの集まりにプラスした活動が安心して行えるように、活動保険や活動費の補助も行っています



生活支援コーディネーター：神田

## 地域のお茶の間サロン活動トピックス

### 仲間がいるから楽しく続けられる！

(中扇お茶の間サロン)

リフレッシュ体操に励む中扇サロンでは、町の教室で習ったことを参考に、自分たちでレクリエーションや体操を企画したり、オリジナル歌詞の歌を歌ったりしています。

いつも笑顔があふれる中扇のみなさん、最近ではお茶の時間に使う素敵な手作りランチチョンマットも作成！一つひとつ絵柄が異なり「いつものお茶の時間がもっと楽しみになった」とは、思わず声が聞かれました。



### みんなで一緒に食べよう！

(中央お茶の間サロン)

5月にはみんなでカレー作りに挑戦するランチ会を開催しました。「おいしくできたから、たくさんの人に食べに来てほしいな」と大好評でした。次回は、おでんを計画中！



中央には、輪投げなどを元気に楽しむ「土曜サロン」もあり、それぞれが特色ある活動を楽しんでいます。

### 専門職と一緒にフレイル予防で元気に！

(押羽・六川・栗ガ丘・中央・矢島・都住・大島)

各サロンでは、歯科衛生士や理学療法士、作業療法士のみなさんをお招きし、口や歯、身体の健康の保ち方についてお話を聞きました。「これなら家でもやってみよう！」と、前向きな声がたくさん上がっていました。



「桃源荘でカラオケをやりたい」「活け花をやってみよう」と、いろいろな活動が広がっています。

町内には、お茶の間サロン以外にも素敵な地域の居場所がたくさんあります。「行ってみたい」「自分たちでもつくってみたい！」「うちの地域にもこんな集まりがあるよ」という方、ぜひお話をお聞かせください。



## ～健康麻雀を通した居場所～ 『マーチャン会』見学 随時受付中！

マーチャン会では、麻雀が初めての方や初心者の方を対象に、見学を随時受け付けています。心も身体も元気になることを目標に、ラジオ体操、花壇づくり、ランチ会も始めました。麻雀を通じて仲間とつながり、笑い合っ、健康な毎日を目指しましょう！

## おぶせ音楽カフェ～楽しい音♪～ 開催のお知らせ

開催日 6/10(水)、7/6(月)、8/3(日)、9/7(日) 時間 午後1時30分～3時

場所 千年樹の里 小布施町健康福祉センター 参加費 一人200円

※おでこポイント対象事業 ※予約は不要 ※町内にお住まいの方ならどなたでも参加OK

6月の開催より、来場されるみなさんから参加費(一人200円)をいただくことになりました。お茶やコーヒー代、著作権料の支払いに活用され、より幅広くさまざまな曲を楽しめるようになります。これからも継続した運営にご協力をお願いします。



各お問合せは、町社協 (Tel.242-6665) まで

5月 火 木 金  
11・12・14・15

## 目の前に広がる美の世界に感動!

デイサービスセンター花の里 ～「おぶせミュージアム・中島千波館」見学～

5月の心地よい快晴に恵まれた4日間、町内にある「おぶせミュージアム・中島千波館」への外出企画を実施しました。

今回の目玉は、小布施町出身の画家・中島千波の作品鑑賞です。会場に展示された大作「[ぼたんの花]」の大きな絵の前では、その圧倒的な迫力にみなさん釘付けに。「すごいな～、まるで本物のようだ」「立体的に見えるね」と、感嘆の声が次々と上がっていました。また、常設展示されている他の作品でも、熱心に見入ったり、特に気に入りの作品の前でじっくりと眺めて余韻を楽しむ姿が印象的でした。



さらに、別棟に展示されている「お祭り屋台」のエリアでは、一転して懐かしい思い出話に花が咲きます。絢爛豪華な屋台を前に、「これは私の自治会の屋台だよ!」「本当に立派な装飾だね。昔はよく町中に出ていたけれど、何年ぶりに見ただろう……」と、当時の活気あふれる町の様子を懐かしそうに振り返られていました。

美しい芸術と地元の歴史に触れ、心豊かなひとときを過ごした素晴らしい外出となりました。

## 5月 25日 真剣勝負! 紅白で大白熱 町デイサービスセンター

～仲間と一丸となって恒例の「運動会」開催～

朝から爽やかに晴れ渡った五月晴れの日、天井に飾られた大きなこのぼりが見守る中、毎年恒例の運動会を開催しました。紅白に分かれ、胸にお花紙で手作りした紅白の花をつけていざ出陣! ウォーミングアップを兼ねた両チーム合同の「大玉送り」では、みなさんで息を合わせて布の両端を持ち、お互いに声をかけ合いながら協力して大玉を運ぶ姿が印象的でした。その後も、熱気そのままに「棒取りゲーム」や「傘玉入れ」へと続きます。



普段のレクリエーションでも練習を重ねて準備してきましたが、当日は初めて運動会に参加される方もいて「私にうまくできるかしら……」と少し不安そうな声も聞かれました。しかし、いざ競技が始まると目の色がガラリと変わり、練習の成果を遺憾なく発揮! 両チームともに一歩も譲らない白熱した大接戦となりました。全力で体を動かした最後には「あー、本当に楽しかった!」「またやりたい!」といった充実感に満ちた笑顔と、大満足の声があふれる素晴らしい運動会となりました。

デイサービスセンター

## ボランティア募集

### お買い物ツアー デイサービスセンター 花の里

- 日付 7月21日(火)～25日(土)
- 時間 午後3時～3時30分頃
- 場所 ドラッグコスコ小布施店
- 内容 車いす介助、お買い物のお手伝い
- 募集人数 各日5人ずつ
- 申込み 7月10日(金)までに町社協へ(Tel.242-6665)

### 夏祭り 町デイサービスセンター

- 日付 8月18日(火)・19日(水)
- 時間 午後1時30分～3時30分頃
- 内容 ゲームコーナー手伝い・車いす介助など
- 募集人数 各日8人ずつ
- 申込み 8月7日(金)までに町社協へ(Tel.242-6665)

令和7年度  
事業報告(抜粋)

令和7年度 全体目標

「自分から一歩前へ つながる・つなげる地域ふくし」

～ だんの らしの あわせづくり～

地域支援事業

【生活支援体制整備事業】

年齢や障がいの有無にかかわらず一人ひとりの個性や存在を認め合い「支え上手・支えられ上手な地域づくり」の実現に向けて、生活支援コーディネーターが住民主体のお互いさまの支え合いの仕組みづくりを推進

□移動外出・付き添い支援 “えべさの会”

・有償ボランティアによる、暮らしを支える移動外出・付き添い活動支援

▶ 活動回数365回

▶ 利用会員50人 協力会員22人



□ごみ出し支援に関する実態調査 (新)

・ごみ出しに困難を感じる高齢者、障がい者への支援策の検討。アンケート調査を実施

▶ 自治会環境美化委員長、ケアマネジャー、訪問ヘルパーからのアンケート結果をもとに協議を実施

□ゆるっとカフェ (新)

・認知症の理解促進と当事者の社会参加を目的としたイベントを開催

▶ 当事者、町民有志、専門職等による運営メンバー41人  
▶ 来場者49人

【障害者等支援事業】

外出する機会の少ない障がい者及びその家族を対象にした交流・心身のリフレッシュを目的に開催

□障がい者希望の旅 (新潟県イヨボヤ会館他)

▶ 参加者：障がい者9人 家族5人  
ボランティア4人

相談支援事業

【すこやかサポート事業】

子どもの学習・生活に関する個別訪問型の支援

▶ 支援協力員による支援活動33回

その他、貸付をはじめとした生活の困りごとに関する相談業務



ボランティア活動育成事業

【ボランティア団体の活動支援】

ボランティア活動をする団体を、ボランティアセンターがサポート

□ワゴン車両貸出 (新)

・外出困難な高齢者、障がい者の移動支援を行うボランティア団体へ車両貸出

▶ 1団体 4回

□活動助成金

▶ 7団体へ 計133,698円



福祉基金事業

【ボランティア養成事業】

ボランティア活動の発展と活動者のネットワークづくり

□ボランティア交流会 [LINEの使い方講座]

▶ 参加者24人

□音訳ボランティア養成講座

～声で伝える広報～ (全5回)

▶ 参加者 延べ69人

介護保険サービス

【居宅介護支援事業】

「行動の言語化」を意識し、より個別性の高いケアプランを作成し、暮らしを支える

▶ 月平均利用者：要介護75人 予防・総合22人

【訪問介護事業】

独居高齢者の増加等に伴い、在宅生活の基盤を支える生活援助へのニーズに対応

▶ 月平均利用者：要介護26人 予防・総合11人

【通所介護事業】「町デイサービスセンター」と「デイサービスセンター花の里」の2事業所体制

北斎館見学などの外出事業や、夏祭りなどのイベントを実施。 ▶ 町デイ月平均利用者：要介護75人 予防・総合 6人  
日頃から多くのボランティアの受け入れや交流を行い、また ▶ 花の里 “ ” : “ ” 66人 “ ” 11人  
学生の「福祉の学び場」としての実習等を行う



ネイル・ハンドマッサージボランティア (デイサービスセンター花の里)

令和7年度 決算報告	収入	会費	3,233,000	支出	人件費	196,180,797
		寄附金	280,701		事業費	45,929,687
		経常経費補助金	16,358,531		事務費	11,436,493
		受託金	40,477,592		助成金	7,291,637
		介護保険事業	203,008,395		負担金	136,020
		障害福祉サービス等事業	865,930		減価償却費	666,567
		預金等利息	703,816		国庫補助金等取崩額	△233,111
		その他	1,143,317		その他	347,000
		基金取崩額	7,000,000		積立金積立額	11,200,000
		前期繰越額	41,723,061			
	収入合計 (①)	314,794,343		支出合計 (②)	272,955,090	
				次期繰越額 (①-②)	41,839,253	

(単位: 円)

## 心が軽くなる時間をご一緒に

「家族介護者のつどい」に  
お気軽にご参加ください

日頃の介護で、もどかしさや葛藤を抱え、心が疲れてしまうことはありませんか？  
介護に携わるみなさんが集まり、学び、言葉にしづらい気持ちを分かち合える温かい場をご用意しました。

**日付** 8月4日(水) 午前10時～12時ごろ **対象** 家族を介護している方

**場所** 千年樹の里 小布施町健康福祉センター

**内容** ①10:00～ **講座** 安全においしく食べるための口腔ケア  
②11:00～ **茶話会** コーヒーやお菓子を囲んで、みんなでおしゃべり

①・②どちらか  
片方のみの  
参加も可能です!

**申込み** 7月30日(木)までに **町社協** Tel.242-6665 または 右記二次元コードより



### みなさんの温かいご支援をよろしくお願ひします

## ～現在募集中の「義援金」「救援金」のお知らせ～

小布施町共同募金委員会および日本赤十字社小布施町分区では、下記の通り義援金・救援金を募集しています。  
みなさんの温かいご協力をお願いします。(令和8年6月1日現在)

- **義援金 (国内の災害支援)**
- 国内の災害で被害を受けられた被災者の生活支援のため、被災地へ直接届けられる募金です
- **募集中の義援金**
- ○ 令和8年大槌町林野火災義援金(岩手県)
- ○ 令和6年9月能登半島大雨災害義援金(石川県)
- ○ 令和6年能登半島地震災害義援金(石川県)
- **募金箱設置場所**
- 千年樹の里 健康福祉センター・小布施町役場

- **救援金 (海外の国際支援)**
- 海外の災害や紛争などに対する、赤十字の救援活動や復興支援活動のための募金です
- **募集中の救援金**
- ○ 中東人道危機救援金
- ○ ウクライナ人道危機救援金
- **募金箱設置場所**
- ・千年樹の里 健康福祉センター

## フードドライブを開催します。

**フードドライブとは**  
賞味期限が残っているが家庭等に眠っている食品を持ち寄り支援を必要とする人や団体に寄付する活動。

**寄付していただきたい食品**  
長期保存が可能な食品。  
賞味期限が1か月以上あり、未開封のもの。

**カルビー株式会社 主催** ← **小布施見にマラソン 前日**

**日時** 7月11日(土) 午前10時～午後2時頃まで  
**場所** 小布施見にマラソン受付会場(役場駐車場カルビーブース)  
※食品提供先 フードバンク信州(生活に困窮している人の支援に)  
※寄付食品に関する問合せ フードバンク信州(026-219-3215)

「ふだんのくらしのしあわせ」を  
支える福祉の仕事  
～町で働く「ふくし」のカタチ～

第5回

作業療法士  
OT : Occupational  
Therapistナカムラ リョウタ  
中村 亮太 さん  
(特定医療法人 新生病院)

## Q1. 作業療法士とはどのようなお仕事ですか？

A. 生まれてから人生の最期を迎えるまでの「生活全般」がリハビリです。そのため、作業療法士はお子さんから高齢の方、精神障がいや緩和ケアまで幅広く関わります。活躍の場も病院の中だけではなく、学校や行政など、実はみなさんのかなり身近な場所で働いています。

## Q2. この仕事を選んだ理由やきっかけを教えてください

A. 昔見たドラマで主演俳優が作業療法士を演じていて、「カッコいいな」と感じたのが入り口でした。元々、人の身体を支える仕事がしたくて、この道に進みました。作業療法士は、知れば知るほど奥が深い仕事です。実はこれからの時代、決して「AIには代わることができない仕事」だと考えています。

## Q3. この仕事を通じてどのようなスキルや能力が身につきましたか？

A. 人の生活スタイルや習慣は一人ひとり違います。ご自宅に戻られた後にどんな暮らしがしたいのか、ご本人の想いを聞きながらリハビリメニューを考え、「生活の彩り」をイメージしてご提案するレパトリーが身につきました。また、多くの方とお話しする中でコミュニケーション力や知識も豊富になり、医学から趣味まで幅広いことに興味を持てるようになりました。今では、お身体に触れさせていただくと、その方が「ブドウ農家さん」なのか「栗農家さん」なのか分かるようになったんですよ(笑)。

## Q4. この仕事ならではの喜びややりがい、達成感を感じる時は？

A. 在宅支援に付き添い、地域の家庭を訪問させていただくことで、私自身の経験値も大きく上がりました。ご本人やご家族が心身ともに良い方向へ向かっていくこと、そして最期の瞬間まで「生きられる」お手伝いができること。「あなた、わかってるね」「ありがとう」と、信頼や感謝の言葉をいただけた瞬間は何よりのやりがいです。

## Q5. 日頃、どのようなことを大切にしていますか？

A. その人の人生に、悔いが残らないようにすることです。「今やりたいこと(望んでいること)をお手伝いできます」と言える存在でありたいですね。ご本人やご家族が大切にしている想いを、病院や地域を巻き込みながらマッチングしていく。そうして、最終的にその人やご家族の「幸せの足し算が一番高いところ」を目指して、これからも業務にあたっていきたいです。

## Q6. この仕事を目指す方へひとこと

A. 作業療法士は“人が好き”という気持ちが何よりも大切です。誰かの人生に深く関わることができる、本当に素敵な仕事です。「作業療法士として誰かを支えてみたい」「自分も関われそうだな」というイメージが少しでも湧いたなら、ぜひ一歩を踏み出して挑戦してほしいです。



社会福祉法人くりのみ園では、一緒にじゃがいもの収穫をお手伝いしていただける「収穫ボランティア」を募集しています。保護者同伴であれば、未就学のお子さんから参加 OK! がんばったご褒美に、じゃがいも(規格外)のお土産があるほか、その場で購入もできます。

日時 7月25日(土) 午前9時30分～11時30分ごろ

※雨天決行。事前にご予約ください。

場所 社会福祉法人くりのみ園(大字都住1238-2)

持ち物 農作業ができる服装、軍手、長靴、帽子、飲み物

申込み 7月17日(金)までに くりのみ園へお電話、またはホームページやInstagramからご連絡ください。

問合せ 社会福祉法人くりのみ園(Tel.247-6330)

Instagram

収穫を楽しみながら  
心地よい汗を  
流しましょう!